

平成22年度 当初予算

「夢と希望と潤いのある ふるさと佐野市」づくりへ



4月17日(土)開通予定の佐野田沼IC

平成22年度予算は、2月市議会定例会（3月24日閉会）で可決されました。

一般会計の予算規模は、409億7,000万円です。また、9つの特別会計を合わせた予算規模は256億9,560万円となっています。

なお、平成21年度予算と比較しますと、一般会計で4億6,000万円減（1.1%減）、特別会計で5億8,000万円減（2.2%減）となっています。

地域の特色を活かした 快適なまちづくり

- ・佐野サービスエリア・スマートインターチェンジ推進事業を引き続き行い、開通に伴うPR、安全確保の案内看板を設置します
- ・（仮称）地域交流センター開館準備事業、および（仮称）まちなか活性化ビル管理運営事業を行い、来訪者のまちなか回遊性を高める、まちなかの賑わいを創出します

やさしくふれあいのある 健康福祉づくり

- ・路線を再編し、実験運行中の自家用有償バスは、今後の方向性を検討します
- ・第2子以降の不妊治療について、医療保険適用外治療費の負担軽減を図るため、不妊治療費助成事業の制度を拡充します

魅力と活力ある産業づくり

- ・三好小学校区域に、こどもクラブを開設します
- ・保育中に体調不良となった児童への緊急的対応を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援する、病児・病後児保育事業を行います
- ・こども医療費を中学校3年生まで拡大して助成します
- ・（仮称）地域交流センターの2階に、子育て家庭の交流と乳幼児を一時預かる、地域子育て拠点施設を開設します
- ・市内商業者の販売拡大につなげるため、プレミアム付商品券発行支援を行います
- ・起業家支援事業により創業、開業を目指す市民の皆さんを支援します
- ・本市のイメージアップや地域経済の活性化を図るため、佐野ブランド化推進事業を実施します
- ・観光情報コレクト提供事業により、市や民間で把握している観光情報を集約、発信して観光誘客を図ります

豊かな心を育む 教育・文化づくり

- ・「まちの駅」の設置を促進し、観光客に観光情報やトイレの提供などの交流活動を行うことにより、観光サービスの向上と「おもてなし」の心を醸成します
- ・大規模地震により、倒壊などの危険性の高い小学校屋内運動場6棟について、補強工事を完了します
- ・今後も安全・安心な学校給食を提供できるよう、（仮称）南部学校給食センターと（仮称）北部学校給食センターを計画的に整備します

市民みんなであつくる 夢のあるまちづくり

- ・市民活動団体が自発的、主体的に行う、ひとづくり、まちづくりなどの活動を支援します
- ・本市の環境保全と農林業の振興を図るため、東京農工大学と連携し、推進を図ります

▼財政課

☎(20)3003

